

心のバリアフリーハンドブック改訂案に対する意見集約結果について

1 文京区障害者差別解消支援地域協議会での意見等

(1) 第1回意見照会（10/27開催時）

| No. | 意見等（要旨） | 対応結果等 |
|-----|---|--|
| 1 | 作成に当たり、当事者から意見聴取を行ったか。 | 1/19 に文京区障害者地域自立支援協議会当事者部会が行われ、事前に現在の案についてご意見があるか、アンケートとして現在の案を配布しました。部会の当日には、各自当事者の方からご意見を発表していただきました。 |
| 2 | P2-3 街の中で誰がどんなふうに困っているのかのページについて。案では削除されているが、研修等で使用する際、このページを見て実際に考えてもらっているので、削除しないでほしい。 | 皆で考えるという機会は大変貴重であるため、ご意見を踏まえ、このページは残すことにしました。 |
| 3 | 冊子のデジタル化が必要ではないか。 | ご意見を踏まえ、今後検討します。 |
| 4 | 各障害の特性が掲載されているが、当事者の方がこれを見たときに、「自分たちはこのように見られている」と思わないか心配。 | 当事者の方がどう感じられるかは、重要な視点ですが、このハンドブックの目的としては、全ての方が理解を深めていくということを目的としているため、一定の言葉に落とし込む必要があるため、このような表記となっております。 参考ですが、1/19 の当事者部会では、特性についてご意見はありませんでした。 |
| 5 | 「私たちがサポートできること」として、各障害に応じたコミュニケーションの取り方が掲載されているが、障害の有無に関わらず、人との接し方の基本的姿勢についても掲載した方が良いのでは。 | ご意見を踏まえ、19 ページに、障害のあるなしに関わらず、人と接するときには思いやりの心が必要であることを掲載しました。 |

(2) 第2回意見照会 (2/9 事前送付)

| No. | 意見等 (要旨) | 対応結果等 |
|-----|---------------------------|-------------------------|
| 1 | 就労支援センターの対象に「難病」を追加して欲しい。 | 追加して「全障害・難病」という表記にしました。 |

2 文京区障害者地域自立支援協議会 (1/19 開催当事者部会) での意見等

| No. | 意見等 (要旨) | 区の考え方等 |
|-----|---|---|
| 1 | P4 あなたなら、どんなふうに声をかけますか?のページ。 ヘルプマークを身に着けた男性が困っているイラストが抜けている。 | 初校作成時の誤植かと思われますので、修正いたします。 |
| 2 | P8 肢体不自由の人のこと。 シニアカーよりは電動車いすの方が良いのでは。 | 電動車いすのイラストに差し替えます。 |
| 3 | P10 視覚障害の人のこと。私たちがサポートできることについて。 1つ目の「何かを伝えるときは、(略)なるべく正面や斜め前から(略)」とあるが、突然正面や斜め前に立たれると驚いたり、気づかずにぶつかったりするので危険。 | 「何かを伝えるときは、相手の気持ちや様子を確認しながら、すぐそばによって具体的な言葉でゆっくり行いましょう」に変更します。 |
| 4 | P10 視覚障害の人のこと。私たちがサポートできることについて。 2つ目の「街の中で困っている様子に気づいたら、(略)相手の肩や腕に軽く触れながら(略)」の、肩や腕に触れるということを削除しないでほしい。 | ご意見を踏まえ、削除せず残すことにしました。 |
| 5 | P10 視覚障害の人のことのページ。 私たちがサポートできることについて。 「視覚に障害のある方のほとんどは、歩行のバランスをとるため片足のみ点字ブロックを踏みながら歩いています。そのため、点字ブロックの上のみならず、その周辺にも物などを置かない | P22 バリアフリーの設備、点字ブロックについてのページに追記しました。 |

| | | |
|----|--|--|
| | ようにしましょう。」という趣旨の文章を追加してほしい。 | |
| 6 | P12 知的障害のある人のこと。主な特性の紹介について。 研修等の場面で、イラストを使ってグループワークの課題などにすることもある。「どのような場面でしょう？」など、問いかけを一文入れてみてはいかがか。 | ご意見を踏まえ、「どんなことに困っているでしょう？」と追記しました。 |
| 7 | P13 知的障害のある人のこと。私たちがサポートできることについて。 「このようなお手伝いができます」というような趣旨の文章を追加し、写真の下に解説を追加してはいかがか。 | 当日の部会の中で、「せっかく問題形式にするのであれば、すぐ隣のページに答えが書いてあるのでは、あまり意味がないのでは？」という意見が挙がり、解説の追記はしないこととしました。 |
| 8 | P19 ヘルプマーク、ヘルプカードのこと。 ヘルプマークがストラップとして付けられることが分かるようなイラストを追加してはいかがか。 | 障害福祉課にて、バックにヘルプマークを着けている写真を撮り、掲載することにしました。 |
| 9 | P22 バリアフリーの設備、点字ブロックについて。 視覚障害の人は、ブロックに片足だけ乗せて歩く人が多い。ブロックの上だけでなく、周囲にも障害物があると危険であることを掲載して欲しい。 | 視覚障害の方は、ブロックに片足だけ乗せて歩く人が多いということを追記しました。イラストは、片足のみ点字ブロックを踏んでいる絵にしました。 また、「点字ブロックの上だけでなく、周辺にも物を置かないようにしましょう」と表記を修正しました。 |
| 10 | P28 障害の理解を深めるためのイベントについて。 各種イベント名を正式名称の表記としてほしい。 | 地域支援フォーラムを「共生のための文京地域支援フォーラム」に修正しました。 ハートフル工房を「文の京ハートフル工房」に修正しました。 |